

市内の魅力を見て歩いて再発見!

かわちながの
歩っとスポット
KAWACHINAGANO
HOT SPOT

2

てんちゅうぐみ
「天誅組」ゆかりのコース

幕末の時代、公家中山忠光が率いた「天誅組」忠光らが向かった油屋や観心寺の地を訪れ市域で起きた歴史の一端に触れてみましょう



1 天誅組石碑 (油屋跡)

江戸時代も終りごろになると、幕府を倒して天皇を中心とした政治の仕組みを打ち立てようとする動きが生まれました。倒幕運動の先駆けとなったのが文久3年(1863)に起きた天誅組の乱です。この天誅組は本市にも縁が深く、一行は三日市宿で休息し、観心寺を参拝したあと、奈良の五條代官所を襲撃したとされています。写真の石碑は、天誅組が宿をとった旅籠である油屋の跡に建てられています。



はじめに①へ行ったあと、駅前にもどって②の方向へ

石見川に沿ってのどかな風景が続きます

3 延命寺

江戸時代の高僧、浄厳が延宝5年(1677)に創建したといわれています。浄厳は、招かれて江戸に赴き、5代将軍の徳川綱吉や諸大名からも帰依を受けました。



観心寺へはこの道を行きます

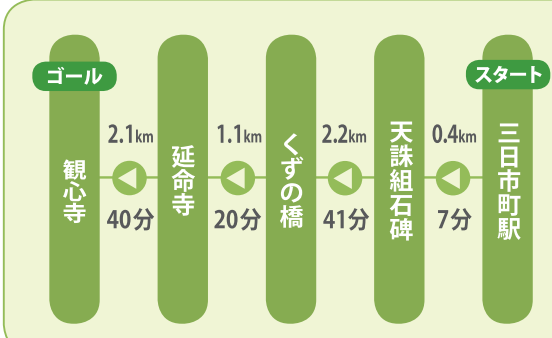
4 観心寺

弘法大師の高弟実恵が、天長2年(825)に修験道の寺院であった雲心寺を整備して、山号を檜尾山、寺号を観心寺に改めたのが寺の中興であるとされています。戦国時代に描かれた絵図には中心伽藍をはじめとする多くの子院(付属寺院)が描かれています。また、観心寺は楠木正成ゆかりの寺としても知られ、正成を尊敬する中山忠光ら天誅組一行が五條代官所を襲撃する前に訪れ、楠公首塚で決起したと伝えられています。▶午前9時~午後4時30分▶拝観料 大人 300円、小人(中学生以下)100円



中山忠光 天誅組河内国甲田村水郡邸出発之図 / 水郡庸隆氏蔵

中山忠光とは…幕末の公家で、天誅組の中心人物。彼が率いる天誅組は、五條代官所の襲撃に成功するものの幕府から反乱軍として追われ、現在の奈良県東吉野村で討伐を受けた。



三日市町駅から天誅組石碑へ。そこは天誅組が宿をとった油屋跡。石碑には足跡が刻まれています。その後、三日市町駅に戻って延命寺へ。途中の道はゆるやかな上りです。そのせせらぎが気持ちいい道です。延命寺から観心寺への道は急なアップダウンが続きますが、緑に囲まれて森林浴ができます。